

授業科目 成人急性期看護学実習Ⅰ

【担当教員名】 目黒 優子、近藤 浩子、大武 久美子、 水戸部 優太		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 急性期にある患者を受け持ち、看護過程の展開を通して実践・評価する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 患者の発達段階、健康状態、生活状況を理解し、看護上の問題や課題を明らかにできる。 2. 対象者の各時期に応じて、セルフケア能力を評価し個別的な看護を実施できる。 3. 患者に関わる人々の連携とチーム医療における看護師の役割について理解できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	実習オリエンテーション 病棟実習：月～木、帰校日：金				担当：目黒 優子 他 担当：目黒 優子 他
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	NANDA-I 看護診断 2014-2016 (予定)	日本看護診断学会	医学書院		
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 評価表に基づいて学習の過程と成果を鑑みて総合的に評価する。			【履修上の留意点】		